

医療連携だより

平成30年6月

第61号

編集：仙台市立病院総合サポートセンター医療連携室
〒982-8502 仙台市太白区あすと長町1丁目1番1号
(代表) 022-308-7111
Tel 022-308-9920 (医療連携室直通) Fax 022-308-9921 (直通)

平成30年度 新体制のお知らせ

平成30年4月1日付で、以下のような新体制となりました。
よろしくお祈いします。

仙台市病院事業管理者
院長
理事

亀山 元 信
奥田 光 崇
鈴木 義 恵

副院長 大浦 敏 博
副院長 村田 祐 二

副院長 八木 哲 夫
副院長 渡辺 徹 雄



亀山管理者



奥田院長



鈴木理事



大浦副院長



村田副院長



八木副院長



渡辺副院長

仙台市立病院院長 就任のご挨拶

院長 奥田 光崇



このたび院長を拝命いたしました奥田光崇です。院長就任にあたりまして、ご挨拶申し上げます。仙台市立病院は、仙台医療圏における中核病院として高度医療・救急医療という大きな役割を担っております。今後もこの役割を果たすべく、市民の皆さんから選ばれる病院、救急隊や地域の先生方から頼りにされる病院、そして職員が働きやすい病院を目指してまいります。登録医の先生方には、これまで通りご指導を賜りますようお願い申し上げます。

私は、古川市立病院で研修後、東北大学第二内科で血液学を学びました。この時代に叩き込まれた、「全身を診るのが内科医」という教えは、現実的には難しいことも多いのですが、今でも私の目指す基本姿勢です。その後、宮城県立がんセンターで骨髄移植を立ち上げ、軌道に乗せるなど血液疾患の治療に携わりました。多くの重症患者を抱え眠れない日々も経験しましたが、そのおかげで、医療の最前線に立って多忙を極めている人の気持ちは痛いほどわかるつもりです。その後、震災後の石巻などで保健所長を経験しましたが、医療行政、多職種連携、病診連携の重要性を学ぶ貴重な機会となりました。そして2014年の市立病院赴任後は、登録医の先生方には大変お世話になっております。

仙台市立病院の重要な機能の一つが救急医療です。救急外来を受診する患者さんは、緊急を要する状態で病院を頼ってきている方たちですので、私たちの持つ専門性、総合力をフルに活かしてできる限り応えていきたいと考えております。平成29年の当院の救急車の受け入れは、前年比469人増の6260人となり3年振りに県内1位を奪還しました。昨年5月に「救急車は原則断らない」という方針を打ち出した効果であるとともに、スタッフの頑張りの成果にほかなりません。今後も救命救急センター業務がより充実するよう、病院全体で取り組んでまいりたいと考えております。

地域医療においては、各医療機関が役割を分担し、連携しながら対応することが求められます。当院は、登録医の先生方からの紹介を受け入れることを重要な責務と考え、積極的に取り組んでいきます。一方、急性期の治療が一段落した患者は地域の先生方にお戻しし、地域に密着したきめの細かい診療を継続いただきたいと思います。この両者を重要な車の両輪とし、地域連携をさらに充実したものにしていきたいと思いますので、登録医の先生方には、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

副院長就任のご挨拶

八木 哲夫 副院長

4月より副院長を拝命し、循環器内科部長、そして研修管理委員長の任務と合わせて、責任の重さを実感しております。

これまで循環器内科において不整脈診療と救急診療を中心に行ってまいりましたが、4年前から研修管理などの仕事に加わり、病院全体をどのように向上させていくかということを考えて職務にあたってきました。研修医の勉強会や病院内の教育的な内容の企画を行い、登録医の先生方や当院職員の協力により、臨床研修病院として全国的に高い評価を得られるようになり、当院を希望する研修医は年々増加しています。また、本年4月から新専門医制度の基幹施設として、内科領域と救急領域が認定され、連携病院・特別連携施設のご協力の中でスタートしております。研修管理などの仕事を通じて医療レベルの高い病院にしていくには、研修医を含めた病院職員の意識の向上が大切であると感じています。快適な温かい医療を提供するために、病院職員が医療職としての高い意識を持ちながら、それぞれの役割を確実にこなせるように、職員が仕事の喜びややりがいを感じながら働ける環境を整備していきたいと思っております。

新病院に移転してから3年半が経過し、病院が大きく変わっていくのと同時に大革命が進行中の医療情勢は厳しい状況が続くと認識しております。地域の中核病院としての役割を担っていくために、登録医の先生方から選ばれる病院となるようさらに改善を進めていきたいと思っております。当院が既に取り組んできたことですが、救急診療の充実に加え、ご紹介をいただいた患者さんを、当院で診療を行った後、スムーズに先生方にお戻りするという流れを一層進めていきたいと思っております。

以前にも増して、登録医の先生方との連携を密にしていきたいと考えておりますので、今後一層のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

渡辺 徹雄 副院長

4月1日より副院長を拝命致しました渡辺徹雄です。よろしくお願い致します。

東北大学から仙台市立病院に赴任して10年目になりました。専門は血管外科で、腹部大動脈瘤や閉塞性動脈硬化症などの外科手術に加え、ステントグラフトなどの血管内治療を専門にしております。新病院移転後は心臓外科手術の立ち上げの仕事を致しましたが、今では仙台市立病院での心臓手術も、当たり前ものになりました。術前・術後に、1例1例、医師のみでなく、手術室看護師、ICU・病棟看護師、臨床工学技士、検査技師、薬剤師など多職種チームでの術前検討のカンファレンスを行い、さらに術後の振り返りも行ってきた蓄積が大きな財産になっています。

院内では、医療安全管理の仕事をしております。こちらも8年目になりました。当院では年間2500件ほどのインシデント報告がなされていますが、これらの傾向を分析し、同様の事例の再発予防策の検討などを行うに当たっては、こちらも医師や看護師のみならず、様々な職種の力を集結した活動を行っております。

当院には各部署に多くの経験を持つベテランに加え、やる気の漲った若手がたくさん働いております。彼らとともに病院改善に努力したいと思っておりますので、今後ともより一層のご支援を賜りますようよろしくお願い致します。



偶然にも二人の
“てつお”副院長が就任しました。

初期臨床研修医 16名 よろしくお願ひいたします!

医師臨床研修マッチングにより、平成30年度初期臨床研修医として元気あふれる16名を採用しました。これから2年間、市内最多の救急車受入数である当院の救急医療はもとより、プライマリ・ケアから三次救急に至るまで様々な疾患の診療に臨み、知識・技術を幅広く習得していきます。

登録医の先生方をはじめ諸先生方におかれましては、温かいご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



部長就任のご挨拶

血液内科

部長 山本 謙司

Joji Yamamoto



この度、血液内科部長に就任いたしました山本謙司と申します。

当科では造血器腫瘍を中心に、多岐にわたる血液疾患の診療を行っております。

他の悪性疾患と同様、造血器腫瘍患者も社会の高齢化に伴って増加傾向です。ご本人の年齢や合併症に加え、家庭環境も様々ですので「標準治療」が困難であることも多々あります。治癒が望める疾患の方にはできるだけ治癒を目指した治療を行い、それができない場合には「日常生活をできるだけ長く維持する」ことを目標とした治療を提案しています。その結果、往診可能な諸先生方にも多大なご協力を頂いております。造血幹細胞移植が望ましい場合は東北大学病院を中心とした関連施設への紹介も行っています。

今後とも医療連携を介して登録医・近隣医療機関の皆様には様々な形でお世話になることと思っております。

何卒前任者同様、皆様の御支援御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

感染症内科

部長 八田 益充

Masumitsu Hatta



4月1日付で感染症内科部長を拝命いたしました。

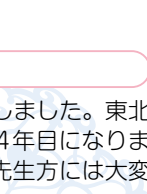
感染症はさまざまな臓器・部位に起こり、その重症度も多様ですが、重篤な感染症では迅速かつ適切な診断・治療が大切です。しかし、最近の複雑な耐性菌事情や免疫不全患者の増加を受けて、感染症が複雑・難治化するケースも多々あり、耐性菌の出現を抑制するための適正な抗菌薬使用、施設内感染対策などの重要性も増しています。

当科は一人常勤体制ですが、まずは院内の感染症マネジメント全体の質の向上を目指して、感染症診療と感染対策の2つを両軸に診療科横断的に活動しています。具体的には、各診療科の入院患者さんの感染症コンサルテーションや血液培養陽性者のフォローなどに力を入れていると同時に、ICTとして環境ラウンドや耐性菌ラウンドなど積極的な感染管理活動を行っています。また、特殊な対応を求められる海外渡航後の有症状者は当科で対応しています。検査の準備などのため、海外渡航後の患者さんをご紹介いただく際には、あらかじめ医療連携室を介してご相談ください。

精神科

部長 佐藤 博俊

Hirotooshi Sato



平成30年4月1日付で精神科部長を拝命いたしました。東北大学病院精神科から仙台市立病院に赴任して今年で4年目になります。日頃より、登録医の先生、近隣の医療機関の先生方には大変お世話になっております。

当科は昭和55年外来診療を開始し、一般精神科診療とともに老人性認知症疾患センターとしての役割を担ってまいりました。現在は、地域医療支援病院として、地域の精神科病院・クリニックとの連携・機能分化を推進することで、一般精神科診療のダウンサイジングを進め、限られた医療資源を市民の皆様から求められている身体疾患と精神疾患を併せ持った救急患者さんの治療に集中するリエゾン精神科として再出発しています。地域全体の医療ネットワークに貢献できるよう一層精進し、少しでも先生方のお力になれるよう努力を続けようと思っております。

今後ともどうぞよろしくようお願い申し上げます

病理診断科

部長 渋谷 里絵

Rie Shibuya



平成30年4月より病理診断科部長を拝命しました。仙台市立病院に赴任してから今年で11年目となります。先代の長沼廣先生の築かれた病理診断科体制を踏襲し、他科との連携を密にして、当院の医療の質の向上に貢献していきたいと思っております。

我々は当院で採取された手術、生検検体のほぼ全ての病理組織診断を行い、剖検も随時行っております。そして、他科とのカンファレンスを定期的に行い、各々の日常診療や研修医教育に寄与しております。尚、当院では、これまで外注しておりました細胞診検査を、半年前より院内でも行えるようになりました。まだ限定的ではありますが、将来的には術中迅速細胞診も行える体制にする事を目標としております。

スタッフは新任の病理医1名が加わり、常勤医2名体制を継続しております。迅速かつ正確な病理診断を提供するために日々努力し取り組んでまいりますので、宜しくお願いいたします。

当院医師のスマイルをリレー方式でご紹介します。

スマイル
リレー

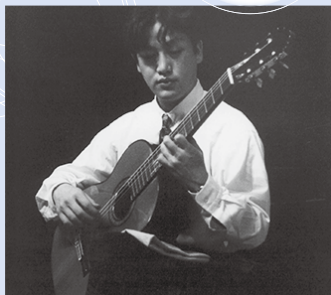
Smile15

音楽

血液内科
山本 謙司



毎日できるだけ早く帰り、子供達の世話で終わる日々です。笑いは絶えませんが、現在進行形の趣味は無いに等しくなりました。元々様々な音楽を見境なく聞いていたタイプで、高校時代にはアコースティックやエレキギターに手を出しつつもあまり物にならなかったものの、大学時代にはかなりクラシックギターをやリ、結構なレベルまで行きました。特にスペイン音楽を好んで弾いていました。ジャズを習っていたこともありますが、先生との相性や育児の負担で挫折してしまいました。ジャズ屋特有のノリ(わかる人にはわかる)に付いていけません。いずれ子供と音楽を楽しみたいと考え、5歳の長女にピアノを習わせ始めたところ。育児の負担が減ったら楽器を再開したいと思っています。



だいび昔の写真ですが…(大学2年、20歳)

Pass the baton ▶ 次号は、大学のサークル(ワンテリング会)の先輩、小児科の北村太郎先生です。

【医療連携に関する状況】

紹介率

1月 81.6%

2月 81.8%

3月 81.8%

逆紹介率

1月 79.1%

2月 93.4%

3月 92.0%

医療連携に関するご意見やご要望等がございましたら、医療連携室までお寄せ下さい。

TEL 022-308-9920 (直通)

母乳育児支援委員会からのお知らせ

当院は「赤ちゃんにやさしい病院」として、母乳育児を支援するとともに温かいふれあいと安全を重視した医療を目指しております。

2017年度は、『新しい試み第一弾』として、市民の皆様におかれて、市民公開講座を開催しました。「赤ちゃんの病気と症状、成長発達について」をテーマにした当院小児科鈴木力生医師の講演には、120名を超える妊婦さんや育児中の方とその御家族の参加がありました。

2018年度は『新しい試み第二弾』として、地域連携の施設の方々にも参加して頂ける「地域公開編」の勉強会を企画いたします。この機会を通して母乳育児支援や当院の取り組みを知って頂き、地域連携の第一歩としていきたいと思っております。

なお、申込方法等詳細については、6月以降のホームページに掲載する予定です。

《地域公開編》

両日とも18時30分から19時30分の60分を予定しております。

	開催日	テーマ	講師
第1回	9月11日(火)	1カ月健診以降の母乳育児について	当院助産師
第2回	1月8日(火)	母乳と薬剤	当院薬剤師



医師異動のお知らせ

採用等

3月1日付

病理診断科医員 佐藤 直実(サトウ ナオミ)
耳鼻いんこう科レジデント

小泉祥太郎(コイズミ ショウタロウ)

4月1日付

内科医長 古川 暁子(フルカワ アキコ)
内科系専攻医 古田 恭平(フルタ キョウヘイ)
外科医長 瓶子 隆弘(ヘイシ タカヒロ)
外科医長 植松 智海(ウエマツ サトミ)
内科系専攻医 高橋早友未(タカハシ サユミ)
神経内科医長 遠藤 薫(エンドウ カオル)
神経内科医員 小川 諒(オガワ リョウ)
神経内科医員 中村 尚子(ナカムラ ナオコ)
糖尿病・代謝内科医長

田中満実子(タナカ マミコ)
脳神経外科医長 成澤あゆみ(ナリサワ アユミ)
脳神経外科レジデント

勝木 将人(カツキ マサヒト)

精神科医長 小原 千佳(オハラ チカ)

精神科医員 渋谷 嘉成(シバヤ ヨシナリ)

精神科医員 松本 佑(マツキ ユウスケ)

小児科医長 小野 頼母(オノ タノモ)

小児科医員 梅津有紀子(ウメツ ユキコ)

小児科レジデント 山田 瑛子(ヤマダ テルコ)

小児科レジデント 川嶋 有朋(カワシマ アリトモ)

小児科レジデント 熊坂 衣織(クマサカ イオ)

小児科レジデント 佐藤大二郎(サトウ ダイジロウ)

泌尿器科医員 木村 信吾(キムラ シンゴ)

産婦人科医員 平賀 裕章(ヒラガ ヒロアキ)

麻酔科医員 黒瀧 健二(クロタキ ケンジ)

麻酔科医員 小林 朋恵(コバヤシ トモエ)

【役職変更】

4月1日付

院長 奥田 光崇(オクダ ミツタカ)

副院長 八木 哲夫(ヤギ テツオ)

副院長 渡辺 徹雄(ワタナベ テツオ)

血液内科部長 山本 謙司(ヤマモト ジョウジ)

感染症内科部長 八田 益充(ハッタ マスミツ)

精神科部長 佐藤 博俊(サトウ ヒロトシ)
病理診断科部長 渋谷 里絵(シバヤ リエ)

【レジデントから医員へ】

4月1日付

消化器内科医員 矢野 恒太(ヤノ コウタ)

消化器内科医員 尾形 洋平(オガタ ヨウヘイ)

循環器内科医員 井筒 琢磨(イツツ タクマ)

耳鼻いんこう科医員

吉田 拓矢(ヨシダ タクヤ)

麻酔科医員 入間田大介(イリマダ ダイスケ)

退職

3月31日付

副院長 長沼 廣(ナガヌマ ヒロシ)

外科医長 日景 允(ヒカゲ マコト)

外科医員 小笠原紀信(オガサワラ ノリノブ)

消化器内科レジデント

松本諒太郎(マツモト リョウタロウ)

神経内科医員 池之内 初(イケノウチ ハジメ)

神経内科レジデント

佐藤 遼佑(サトウ リョウスケ)

糖尿病・代謝内科医員

白井 勇太(シライ ユウタ)

脳神経外科医長 林 俊哲(ハヤシ トシアキ)

脳神経外科医長 赤松 洋祐(アカマツ ヨウスケ)

精神科医長 菊池 達郎(キクチ タツオ)

精神科医員 田坂 有香(タサカ ユカ)

精神科医員 五十嵐江美(イガラシ エミ)

小児科医員 遠藤 早紀(エンドウ サキ)

小児科医員 阪本 昌樹(サカモト マサキ)

小児科レジデント

宇根岡紗希(ウネオカ サキ)

小児科レジデント

篠崎 まみ(シノザキ マミ)

小児科レジデント

荒川 貴弘(アラカワ タカヒロ)

産婦人科医員 大塚 康二(オオツカ コウジ)

産婦人科レジデント

吉田 悠人(ヨシダ ユウト)

放射線科レジデント

加藤恵里奈(カトウ エリナ)

仁田原見知子(ニタハラ ミチコ)

麻酔科医員 渡辺 千晶(ワタナベ チアキ)

救急科医長 野上 慶彦(ノガミ ヨシヒコ)

初期研修医 今村 忠嗣(イマムラ タダツグ)

初期研修医 佐藤 真由(サトウ マユ)

初期研修医 國方 歩(クニカタ アユミ)

初期研修医 堀内 高弘(ホリウチ タカヒロ)

初期研修医 佐藤 順紀(サトウ ジュンキ)

初期研修医 加藤 春香(カトウ ハルカ)

初期研修医 玉懸美菜実(タマガケ ミナミ)

小児科を除くすべての診療科が紹介・予約制外来となります
(受診には、診療情報提供書(紹介状)と診療予約が必要です)

診療科	受付終了	月	火	水	木	金
内科						
新患	11:00	奥田 光崇	中山 謙二	氷室 真仁	秋保 直樹	八重柏政宏
再来		八重柏政宏	芦野 有悟	秋保 直樹	中山 謙二	突田真紀子
専門再来		「血液」山本 「腎臓」中山	「血液」氷室 真仁 「呼吸器」柳澤 (応援医師)	「血液」奥田 「呼吸器」二瓶	「血液」山本 「糖尿病・高血圧」樋渡 「呼吸器」佐藤 (応援医師)	「腎臓」秋保 「糖尿病・高血圧」樋渡 「呼吸器」芦野 (午後)
糖尿病・代謝内科						
新患/再来	11:00	田中満実子	檜尾 好徳	山田 高弘	田中満実子	山田 高弘
再来		檜尾 好徳	山田 高弘	田中満実子	檜尾 好徳	檜尾 好徳
消化器内科						
新患	11:00	菊地 達也(奇数週) 野村 栄樹(偶数週)	川村 昌司	鈴木 範明	長崎 太	境 吉孝
再来		鈴木 範明 尾形 洋平	平塚 敬士	長崎 太 野村 栄樹 矢野 恒太	境 吉孝 川村 昌司 大山 秀晃	菊地 達也 長崎 太 松本諒太郎
循環器内科						
新患	11:00	佐藤 弘和	山科 順裕	青木 恒介 鈴木 啓資	石田 明彦	三引 義明 中川 孝
再来		石田 明彦 井筒琢磨 (午後)	八木 哲夫	三引 義明	佐藤 英二	三引 義明 中川 孝
専門外来		「不整脈」八木哲夫 9:00-	「A-βカ-」石田明彦 13:00-	「不整脈」佐藤弘和 9:00-		
神経内科						
新患	11:00	樋口じゅん	樋口じゅん	遠藤 薫	中村 尚子	小川 諒
再来		中村 尚子	担当医	小川 諒	遠藤 薫	樋口じゅん
外科 (手術:月・水・金)	11:00	高屋 潔(午前) 関口 悟 櫻井 遊(午後)	高屋 潔(午前) 櫻井 遊 植松 智海	佐山 淳造 櫻井 遊 瓶子 隆弘	佐山 淳造 貝羽 義浩	紹介外来 菊池 寛 米田 海
心臓血管外科 (手術:水)	11:00	渡辺 徹雄	渡辺 徹雄		中野 善之	外山 秀司
整形外科 (手術:火・木・金 午前)	11:00	阿部 博男 博高 佐藤 佐藤 雄紀	猪苗代 敬 野口 森幸	阿部 博男 入江 太一 佐々木大蔵	佐野 博高 佐々木大蔵	入江 太一 猪苗代 敬 野口 森幸
形成外科 (手術:月・木 午前)	12:30~ 15:00	小坂 和弘	小坂 和弘	小坂 和弘	小坂 和弘	小坂 和弘
脳神経外科 (手術:月・金)	11:00	刈部 博	刈部 博 成澤あゆみ	刈部 博 成澤あゆみ	刈部 博	刈部 博
小児科	11:00	西尾 利之 守谷 充司 梅津有紀子	北村 太郎 新田 恩 小野 頼母	大浦 敏博 新田 恩 星 雄介	西尾 利之 守谷 充司 小野 頼母	大浦 敏博 北村 太郎 星 雄介
専門再来		「先天代謝」大浦 「神経」北村	「腎」西尾 「神経」守谷	「腎」西尾 「神経」守谷	「循環器」村田・新田 「神経」北村 高柳 (1,3週)	「発達支援」守谷
産婦人科 (手術:月・水・金)						
新患 ※随時交替あり	11:00	早坂 篤 今井 紀昭 中西 (応援医師)	大槻 健郎 早坂 篤 今井 紀昭	大槻 健郎 早坂 篤 今井/宇賀神	早坂 篤 喜多川 (応援医師) 宇賀神智久	大槻 健郎 今井 紀昭 宇賀神智久
再来		宇賀神智久	赤石 美穂	平賀/担当医	大槻 健郎	早坂 篤
妊婦再来		羽根田 健 遠藤 俊	平賀 裕章 担当医	羽根田 健 担当医	今井 紀昭 羽根田 健	赤石 美穂 担当医
耳鼻いんこう科 (手術:月・水・金)	11:00	※交替制	小倉 正樹 吉田 拓矢 小泉祥太郎	※交替制	嵯峨井 俊 吉田 拓矢 小泉祥太郎	※交替制
眼科 (手術:月・火・木)	10:30	桑原創一郎 萱場 寛子 山田絵里香	桑原創一郎 萱場 寛子 山田絵里香	桑原創一郎 萱場 寛子 山田絵里香	桑原創一郎 萱場 寛子 山田絵里香	桑原創一郎 萱場 寛子 山田絵里香
皮膚科 (手術:木)	11:00	草刈 良之 鍵本香子(午前)	草刈 良之 高橋 愛	草刈 良之 鍵本 香子 (17時まで)	草刈 良之 高橋 愛 (木曜は予約のみ)	草刈良之 (再来のみ) 高橋 愛 鍵本香子(午前)
泌尿器科 (手術:火・木)	11:00 火・木 10:30	石戸谷滋人 青木 大志 竹内 晃	担当医	石戸谷滋人 竹内 晃 大原英一郎	担当医	青木 大志 竹内 晃 大原英一郎
放射線科	11:00	津田 雅視 佐藤 友美	津田 雅視 佐藤 友美	津田 雅視 佐藤 友美	津田 雅視 佐藤 友美	津田 雅視 佐藤 友美
	午後		放射線治療(新患)			
麻酔科・緩和ケア外来 (ペインクリニック)	11:00	袖山 直也 東海林秀幸	筆田 廣登	筆田 廣登	筆田 廣登	袖山 直也 東海林秀幸
		※各日、いずれかの医師が交代で担当します				
歯科口腔外科 (手術:水)	11:00	相場 信彦 樋口 景介	相場 信彦 樋口 景介	相場 信彦 樋口 景介 永井 (応援医師)	相場 信彦 樋口 景介	相場 信彦 樋口 景介
精神科	※再来のみです。当面、新患のご紹介はお受けしておりません。					

※救急の場合は、Tel(022)308-7111(代)にお電話いただき、「救命救急センター外来へ」とお伝えください。

※新患及び再来の受付開始時間は8時30分(形成外科は12時30分)からとなっております(終了時間は診療科によって異なりますので、ご注意ください)。

※休診日は、土曜、日曜、祝日(振替休日を含む)、年末年始(当該年の12月29日~翌年の1月3日)となります。

※この表は随時変更することがあります。詳しくは当院ホームページをご覧ください。URL:<http://hospital.city.sendai.jp/customer/gairai.html>